

関連機関紹介 — 自然科学分野を中心に

伊藤 えりか

ここでは中国の機関リポジトリを提供する機関や関連機関の活動を紹介する。

●中国科学院国家科学図書館

(National Science Library, Chinese Academy of Sciences) <http://www.las.ac.cn>

二〇〇六年三月に中国科学院内の文献情報中心(北京)、資源環境科学信息中心(蘭州)、成都文献情報中心、武漢文献情報中心が合併し、中国科学院国家科学図書館となった。

親機関の中国科学院 (Chinese Academy of Science) は国務院直属の機関である。一九四九年一月に、中華民国時代の中央研究院の残存部分を中心に再構成された。一九七七年に哲学・社会科学部門が中国社会科学院として独立して以来、中国科学院は自然科学分野の研究業務に特化しており、中国各地に九一の研究所を有する中国最大規模の科学技術研究機関で、科学技術政策への提言も行っている。

北京の本部図書館は一九五〇年四月に中国科学院図書館として設立され、一九八五年一月に中国科学院文献情報中心と名称を変えた。二〇〇一年には最新設備を備えた新図書館を竣工し、外国のデータベースや電子ジャーナルを利用できる環境を整えて広く一般に公開している。館内には中国

各地にある中国科学院内の各研究所が相互に情報を共有化するためのシステム開発や、デジタル化計画などの事業に取り組み部門もある。二〇〇二年より引用文献データベース、目次情報データベース、文献全文情報データベースを含む中国科学文献サービス (ScienceChina) を運営している。

資料収集対象は自然科学分野に重点が置かれており、人文・社会科学分野の資料も収集しており、利用者の幅広いニーズに添えている。中華民国時代の日本語資料約二〇万点も所蔵しており、一部はデジタル化計画の中に組み込まれている。

●国家科技圖書文献中心

(National Science and Technology Library = NSTL) <http://www.nstl.gov.cn>

「圖書文献中心」の名称だが、科学技術系のバーチャルライブラリーである。二〇〇〇年六月に国務院により創設が決定した。加盟館は中国科学院国家科学図書館、中国科学技術情報研究所、中国化工信息中心、中国農業科学院農業情報研究所、中国科学院医学情報研究所など九館で、各図書館の所蔵の横断検索が可能だ。事務部門が科学技術文献情報資源の共同構築作業の計画、調整、管理を担っている。サービスの多くは加盟館とその職員向けだが、所管の

行政機関に関係なく、科学技術系の研究機構をネットワークで繋いでいる点特徴である。外国の電子ジャーナルのコンソーシアムを組んでいるほか、科学技術系雑誌の目次情報を提供している。

●科学技術振興機構(日本)

(Japan Science and Technology Agency = JST)

日本語による中国の科学技術情報や科学技術政策情報を求める方は、科学技術振興機構中国総合研究センターが提供するサイトを利用できる。

サイエンス・ポータル・チャイナ (<http://www.spcjst.gov.jp/sciencepolicy>) は中国の科学技術情報を速報で伝える。

中国文献データベース (<http://www.spcjst.gov.jp/database/index.html>) は、中国科学院技術部科学技術情報研究所 (IS TIC)、中国科学院国家科学図書館、北京大学などの機関が、中国の主要科学技術誌約二五〇〇誌の中から重複して特に重要と判断した約七四〇誌の目次情報を翻訳し、データベース化している。検索結果のダウンロードや、原文の全文複写(有料)を申し込むことも可能だ。

(いとう えりか/アジア経済研究所 図書館)